

荒尾干潟における生物多様性保全への取組紹介

荒尾干潟保全・賢明利活用協議会の取組

荒尾干潟保全・賢明利活用協議会とは、荒尾干潟の保全や賢明な利活用について考えるため、平成24年4月に荒尾市や漁協などの関係団体で設立された協議会。代表は荒尾漁業協同組合長。

◆荒尾干潟ラムサール条約登録記念式典の開催

平成24年8月26日、荒尾総合文化センターで、荒尾干潟のラムサール条約登録を記念して登録認定証の授与式や環境クイズ大会などが開催されました。

荒尾市や県内外から約千人の方が参加し、式典を盛り上げました。



荒尾干潟ラムサール条約登録記念式典

◆「ESDのためのKODOMOラムサール藤前干潟」に参加

平成24年11月、荒尾市内の小学生2名が、全国のラムサール条約湿地で環境保全活動に取り組む子どもたちの交流会に参加しました。湿地の観察や活動発表会、ディスカッション等を通して、保全への意識を高めています。



ESDのためのKODOMOラムサール<藤前干潟>

荒尾市の取組

◆「荒尾干潟の日」の制定

荒尾市では、荒尾干潟がラムサール条約に登録された7月3日を記念し、この日を「荒尾干潟の日」と制定。市では、「荒尾干潟の日」を中心に、干潟の重要性の普及啓発や環境保全活動等に取り組んでいくこととしています。

民間の取組

◆日本野鳥の会熊本県支部による野鳥の調査保護活動

日本野鳥の会熊本県支部では、1997年から荒尾干潟へのシギ・チドリ類のモニタリング調査や野鳥観察会を継続して実施しています。この活動がラムサール条約登録へとつながりました。



野鳥観察会

◆海岸清掃イベント「コスモ アースコンシャス アクト クリーン・キャンペーン in 荒尾」

コスモ石油と全国FMラジオ局では、地球環境の保護と保全を呼びかける運動を展開しており、この運動の一環として、平成24年10月に、荒尾干潟で清掃活動や野鳥観察等が行われています。



キャンペーン活動

熊本県の取組

◆「ラムサール学びの海シンポジウム in 荒尾」

平成24年8月26日、荒尾市等と連携し、『国際的に重要な湿地「荒尾干潟」の生物多様性の保全と人との共生について考える』をテーマに、シンポジウムを開催しました。荒尾市民や県内外から多くの方が参加し、人と自然との共生について、活発な意見交換や議論が行われるなど、生物多様性保全への機運が高まっています。



シンポジウム

◆自然環境講座「荒尾干潟の観察会」

熊本県の自然の特性や生物多様性保全について理解を深めるため、毎年、自然環境講座を開催しており、その一環として、荒尾干潟の野鳥や干潟生物の観察会を実施しています。

国際的に希少なクロツラヘラサギやズグロカモメをはじめ、野鳥の生息を支えるアナジャコや貝類などの干潟生物を身近で観察でき、荒尾干潟の生物多様性が実感できます。



底生生物の観察

◆県内一斉清掃活動「くまもと・みんなの川と海づくりデー」

「くまもと・みんなの川と海づくりデー」は、有明海・八代海再生に向けた県民運動の一環として、県や市町村などが主催し、住民や漁協、企業などと協働して川や海を一斉清掃する活動です。

平成24年度は、県内41市町村、約4万人の方が参加されています。



海岸清掃活動